



花粉症



花粉症はスギやヒノキなどの花粉が原因となって起こるアレルギー疾患です。特にスギ花粉症は冬の終わりから春にかけてピークを迎えます。スギやヒノキの他にも、ヒノキ、イネ、ブタクサ、ヨモギなど様々な種類の植物が花粉症を引き起こすと言われていています。子どもも大人も花粉症の患者さんは毎年増加しており、早めの対策が必要です。



花粉症の症状



くしゃみ

花粉などのアレルギー物質を外に出そうとする働きによりくしゃみが起こります。

鼻水

異物を洗い流そうとする働きにより起こります。

鼻づまり

鼻の粘膜が腫れ、鼻の通り道が狭くなることによって起こります。


口の渇き


咳が出る


眠れない


気を付けること




 帰宅時は衣服や髪をよく払ってから部屋に入る。洗顔、うがいをする。

 飛散が多いときの外出は控える。外出時にはマスク、眼鏡を使用する。

 飛散が多いときは窓、戸を閉めておく。換気するときの窓は小さく開け短時間にとどめる。

 ウールなど花粉が付きやすい衣類は避ける。

 空気清浄機や加湿器を使用する。



病後児室では、床の掃除機掛けや拭き掃除、壁拭き、室内の加湿、換気方法などに注意しています。

